

11月5日(木曜日) 焼き芋の準備と水抜き作業

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計12名】



女性陣は「くぬぎの森づくり」で振舞う焼き芋の準備。サツマイモを洗い新聞紙で包むところまでしておいた。当日の朝、濡らしてアルミホイルで包むことにする。

男性陣は、先週行った作業で水が抜けているか確認するためにモリメイトフィールドに向かった。少しずつではあるが水は抜け、地面の状態もよくなっていた。しかし、まだ凸凹していて歩きにくいので、崖の土を削りその土をぬかるみやすい所や埋めた塩ビ管の上などに移し、叩いて平らにした。道幅も少し広くなり、散策する人も作業用の軽

トラも以前より通りやすい道になった。

11月8日(日曜日)「第6回くぬぎの森作り」開催

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 計12名】



コナラやカエデが色づき始めた森林公園で「第6回くぬぎの森づくり」のイベントを行った。

コロナ禍ということもあり募集人数を少なくし7組23名の参加で開催した。

研修室で「くぬぎの森」の話聞いた後、植樹予定地のモリメイトフィールドに移動。

スコップで穴を掘り、ポットで1年間育てた苗木を大事に植え、みんなで土をかけていた家族。鹿から守る幼齢木ネットを背伸びしながらかける子をそっと手伝うお父さん。名札をつけながら成長を願っていた兄弟。素敵な場面にモリメイトもほっこり。来年の植樹に備えてビートルズベッドの腐葉土をポットに入れドングリを5つポットに埋めると最後のお楽しみである焼き芋に一直線。アツアツの焼き芋を頬張るおいしい笑顔でイベントは無事終了した。



11月12日(木曜日) 枯れコナラの除伐

【参加者:池本、越智宏、越智美、北、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中 計10名】



コナラの太い枝が枯れ落下する危険があるので除伐してほしいと公園事務所の依頼を受け、コナラの大木(直径が50cm、40cm、30cm、高さ15メートル位)を3本除伐した。

倒れるときの轟音はコナラの悲鳴のようでもあり胸が締め付けられる。昔の人がそうしてきたようにシイタケのほだ木や薪として活用させてもらうことにする。



カシノナガキクイムシが運ぶ菌によって引き起こされるナラ枯れは4年ほど前にあちこちで見られた。今日除伐した大木は、そのころから枯れ始め、今まで頑張ってきたコナラである。切ってみると幹にはこのような大きな空洞ができていた。

11月19日(木曜日) コナラの除伐とホダ木作り

【参加者:池本、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、計9名】

先週に引き続き、コナラの大木2本を除伐。枝の使える部分は、1mの玉切りにしシイタケの原木として使用。60本ほどの原木ができた。幹を短く丸太切りにしたものは椅子や薪として使用することにする。



枝葉の処理、周りの草刈り、掃除も済ませるとカブトムシの森周辺は明るく広々とした場所になり、木の葉時雨の美しい秋の風景となった。

11月27日(木曜日) ビートルズベッドの修復

【参加者:池本、越智宏、越智美、梶川、北、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計12名】



まず、杉林の間伐材で横木と杭を作る。

かけやで杭を打つ。

横木を入れて杭を番線で止める。

綺麗に修復されたビートルズベッド。12月に入ると公園内の落ち葉掻きを行いこの中に入れる。